

福岡市 ウォーターフロント再整備 シンポジウム2015

再整備の意義と今後の展開

福岡市博多区の中央ふ頭、博多ふ頭からなる「ウォーターフロント地区」を、もっとにぎわいあふれるエリアにするための再整備プロジェクトが本格始動しています。ウォーターフロント地区は海の玄関口として、また都心にありながら水辺空間を楽しめるスポットとして、国際会議や展示会などを開催するMICE施設が集積するエリアとして、大きな可能性を秘めています。再整備によって、福岡市民をはじめ国内外から街を訪れた人が憩い、自然に足を運びたいくなる新たな都心の拠点づくりを目指します。

MICEとは
 企業などの会議（ミーティング）、企業などの研修・研修旅行（インセンティブ）、団体などの国際会議（コンベンション）、展示会や見本市（エキシビション・イベント）の総称で、多くの集客力が見込まれるビジネスイベントのこと。



日時 **平成27年2月13日(金)**
 13:30(開場・受付 13:00)～16:30

会場 **西鉄グランドホテル 鳳凰の間**
 福岡市中央区大名2丁目6-60 TEL.092-771-7171

定員 **300名** **参加無料** ※要申込み

基調講演

テーマ

環境と建築
 ～人が集まる公共空間のあり方について～

講師

SANAA、妹島和世建築設計事務所 **妹島 和世氏**

茨城県生まれ。1981年日本女子大学大学院を修了。伊東豊雄建築設計事務所勤務を経て、1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛とともにSANAAを設立。2010年 第12回ベネチアビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。主な受賞として、日本建築学会賞*、ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞*、芸術選奨文部科学大臣賞美術部門、フランス芸術文化勲章オフィシエ、2010年プリツカー賞*(アメリカ)、銀の定規賞*(フランス)など。主な建築作品としては、国内では金沢21世紀美術館*、Dior表参道*、犬島「家プロジェクト」、京都の集合住宅NISHINOVAMA HOUSE、岡山大学JunkoFukutakeHall*など。海外ではニューミュージアム*(ニューヨーク)、2009年サーペンタインギャラリーパビリオン*(ロンドン)、Rolexラーニングセンター*(ローザンヌ・スイス)のほか、2012年ルーヴル美術館の分館となるルーヴル＝ランス*が完成した。(*=SANAAとして)。



photo: Takashi Okamoto

パネルディスカッション

テーマ

再整備の意義と今後の展開について

パネリスト

- 新日本有限責任監査法人 インフラ・PPP支援室長 **福田 隆之氏**
- 東洋大学建築学科教授、シラカンス&H代表取締役 **工藤 和美氏**
- ULIジャパン エグゼクティブ・ディレクター **J.マイケル・オーエン氏**
- コーディネーター 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 **出口 敦氏**

福岡市ウォーターフロント再整備 シンポジウム2015

再整備の意義と今後の展開

プログラム

13:30~13:35

主催者あいさつ

13:35~13:45

ウォーターフロント地区再整備の取組状況の報告

13:45~14:45

基調講演

講師

SANAA、妹島和世建築設計事務所 妹島 和世 氏

テーマ

環境と建築 ~人が集まる公共空間のあり方について~

14:45~15:00

休憩

15:00~16:30

パネルディスカッション

テーマ

再整備の意義と今後の展開について

パネリスト

コーディネーター



新日本有限責任監査法人
インフラ・PPP支援室長
福田 隆之氏

2002年から野村総合研究所でPFI
アドバイザー業務等に従事。2012
年より現職。国土交通省の成長戦略
会議委員なども務める。



東洋大学建築学科教授、
シーラカンスK&H代表取締役
工藤 和美氏

代表作に博多小学校、金沢海みらい
図書館などがある。国家戦略特区フ
ーキンググループ委員。



ULIジャパン
エグゼクティブ・ディレクター
J.マイケル・オーエン氏

国内外の不動産投資・開発のアドバ
イザーを務め、翻訳・IR支援企業を
経営。政府内閣官房 環境未来都市
推進委員会 推進委員。



東京大学大学院
新領域創成科学研究科教授
出口 敦氏

専門：都市デザイン。九州大学助教授、教授
を経て2011年より現職。[We Love 天神協
議会]「博多まちづくり推進協議会」の設立
など福岡市の多くのプロジェクトに参画。

参加申込書 参加無料

申込方法

はがき、FAX、またはEメールで。①郵便番号②住所③氏名④会社または団体名⑤年齢⑥電話番号(複数の場合は①から⑥をそれぞれご記入ください)を記入し、下記の宛先へ。

※参加者には事前に参加証をお送りします。 ※お寄せ頂いた個人情報は本事業以外に使用しません。

宛先

西日本新聞社企画推進部
「福岡市ウォーターフロント再整備シンポジウム2015」係

はがき 〒810-8721 (住所不要)

FAX 092-731-5210

Eメール waterfront@nishinippon-event.co.jp

申込締切

2月4日(水)

応募者多数の場合は
抽選いたします。

住所	(〒)		
氏名			
会社 または 団体名			
年齢		電話番号	

問い合わせ

西日本新聞社企画推進部
「福岡市ウォーターフロント再整備シンポジウム2015」係

☎092-711-5490 (平日10:00~18:00)